## 天下茶屋駅（地下鉄堺筋線）③

# 天下茶屋から大衆演劇場・梅南座まで

天下茶屋駅（南海本線・高野線）　花園町駅（地下鉄四つ橋線）
西天下茶屋駅（南海高野線）

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.035

### 地下鉄天下茶屋駅

#### ①天下茶屋駅

天下茶屋界隈は、古くはうっそうと森が生い茂った土地でしたが、千利休の師匠である武野紹鷗（たけのじょうおう）が森の湧水が良いことに着目して庵と茶室を設けました。その後、天正年間（1573～92）に楠木正行の十世孫という初代・芽木小兵衛光立が茶屋を出し、三代目・芽木小兵衛昌立のときに、豊臣秀吉が当地に立寄り、この芽木家の清泉を汲んで千利休に茶を点てさせたところ、味の良さに感激して芽木家に朱印を与えました。そこから当地界隈が「殿下茶屋」「天下茶屋」と呼ばれるようになったといいます。駅名もその地名から採用されています。

#### ②サンヨー製菓

昭和21年（1946）に菓子製造を開始。昭和35年（1960）にフィンガーチョコやウィスキーボンボンを開発。昭和36年（1961）にモロッコヨーグルを開発して、年間1000万個を販売するほどの大ヒット商品になりました。平成8年（1996）には普通サイズ11個分の「ジャンボヨーグル」を発売して話題となりました。

#### ③ハシモト製菓

日本で唯一の型抜き製造メーカーで、昭和27年（1952）に当地に拠点を構えました。東京で流行りつつあった「かたぬき」を独自に研究開発、商品化に成功して、たちまち子供たちの人気を集めました。平成9年（1997）には、大人も楽しめる型抜き「ザ・かたぬき」を開発、こちらもヒット商品となっています。

#### ④敷津松之宮西成社

浪速区にある敷津松之宮神社の御旅所です。同神社の記録によれば3世紀に、神功皇后が武内宿彌を従えて、敷津浜を航行中、松の木3本を植えて航行の安全を祈願したのが起源といわれています。はじめは松本の宮と呼ばれていましたが、明治のころには八坂神社と呼ばれるようになりました。

#### ⑤池下商店

大正12年（1923）創業の地ソース「ヒシ梅ソース」の商店です。ラベルはすべて手張りで、手作業で製造しています。製造量は年間180キロリットルほどですが、平成19年（2007）には、日本経済新聞のおすすめソースランキングで1位を獲得し、知名度は全国区へと広がりました。

#### ⑥梅南座

平成10年（1998）開設の大衆演劇場です。昭和50年（1975）、鶴見橋にあった鶴見グランド（現在の鈴成座）で大衆演劇をしていたオーナーが、もとは鉄工所だった場所を購入・改装しました。毎月1劇団が1日2回公演を行って、地域住民の娯楽、憩いの場となっています。

### 地下鉄花園町駅